

UK

UK REPORT

New Products

エアフロー プロフィラキス
マスター/松風
〈歯科用多目的超音波治療器〉

松風から9月21日に発売される“エアフロープロフィラキスマスター”は、超音波スクレーリングと歯面清掃の2つの機能を1台に搭載した多目的超音波治療器です。洗練されたデザインとエアフロー・ペリオフロー・ピエゾン機能を備え、ハイクラスのプロフェッショナルケアが可能です。

【特徴】

- ピエゾンはボトルまたは外部からの水供給が可能です。また専用の洗浄液で液回路を清潔に保ち、感染・汚染のリスクを低減します。
- 歯肉縁上・縁下に使用するプラスチックパウダーチャンバーでは、歯肉縁上専用のクラシックパウダーチャンバーと比べて、圧力を下げる構造になっています。
- 操作面にタッチパネルを採用し、指のスライド操作でエア圧や出力調整が簡単に行えます。
- ワイヤレスフットペダル式を搭載。

標準価格＝本体一式 1,070,000円
※年に1回の保守点検(有料)が必要です。

ソールバイト
/プレミアムプラスジャパン
〈咬合採得用ビニルシリコーン印象材〉

プレミアムプラスジャパンから発売された“ソールバイト”は、ショアA90の「硬すぎず、柔らかすぎず」のあつかいやすい適度な硬度の咬合採得用ビニルシリコーン印象材です。自社製造開発で、「色調」「硬さ」「使いやすさ」の全てのバランスにこだわった安心の日本製です。

【特徴】

- 操作余裕時間は20秒、ペーストの押し出し抵抗が非常に少なく、歯面にのせる際の流動性がよく、フルアーチの咬合採得にも適しています。
- 口腔内に入れた時点では柔らかく、咬合直後から硬化が始まり30秒で硬化します。
- 収縮率は-0.1%以下で、1~2週間経過後もほぼ同じ収縮率を維持します。
- 濃淡の出やすいマットブルーの色調を採用。咬合接触点に近い部分まで見やすく、接触点の透明度が高く、咬合状態を確認するのに最適な色調です。

標準価格＝カートリッジ 50ml×2本
2,600円

KZR-CAD HR3 ガンマシート
/モモセ歯科商会
〈CAD/CAM用ハイブリッドレジンブロック〉

大臼歯に適した「高強度」、そして「フッ素徐放性」を実現したCAD/CAM用ハイブリッドレジンブロック“KZR-CAD HR3 GAMMATHETA (ガンマシート)”がモモセ歯科商会から発売されました。従来のHR2と比較して含有する無機フィラーの平均粒子が約4μmに対し、ガンマシート(HR3)は約1μmの無機フィラーを含有し、微細フィラーを高充填することで機械的強度が向上しました。また、表面処理に耐水性に優れている長鎖のスペーサーを持つシランカップリング剤を使用。これにより、フィラーの高充填と樹脂との一体化が進み、ハイブリッド材料としての強度が大幅に向上しました。

【特徴】

- 臨床シーンで発揮する特性として、X線造影性と蛍光性を示します。
- 加熱処理により高度で重合されているため、耐着色性に優れ、長期的に変色しにくく、審美性を維持することが期待できます。
- ガンマシート自体が摩耗しにくく、咬合バランスがくずれずリスクを軽減します。

標準価格＝Mサイズ(1個入) 4,790円
Lサイズ(1個入) 4,820円
Mサイズ(5個入) 23,950円
Lサイズ(5個入) 24,200円

My Recommendation

『サクラモデルボンド』
〈吉野石膏販売〉

標準価格＝50g入 2,300円

強力な接着力貼付模型に最適!

今回ご紹介させていただく製品は、吉野石膏販売から技工所様向けに6月1日に発売された『サクラモデルボンド』です。

特にこの製品は、超高粘度タイプの為、石膏に余り浸透せず(粘性のない物は石膏に浸透して、接着が悪い)、大変優れた接着力があり、貼付模型の接着作業を行う時など石膏同士の接着に適している事や接着する面など多少の凸凹などあっても、強力な接着が可能になります。また、超高粘度タイプでありながら流動性があり、ダウエルピン直立時にも使用することが可能です。

ご使用いただいております技工所様では、「流動性が良いので流しやすしいし、石膏同士の接着には非常に適している。」と大変好評を頂いております。是非この機会に一度お試しください。ただければと思います。詳細につきましては弊社営業担当者までお問い合わせください。

鹿児島店 営業四課 岩切 満

歯科医院経営を考える(491)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 今こそ公共事業の拡大を ～

今回の豪雨による被災者の方々に対して心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

7月12日に警視庁が発表した被災状況によれば、全国14府県で死者200人、行方不明者67人であるという。今回は九州から中部地方の岐阜県にまで及び日本の西半分が何らかの水害に遇う大災害の事態となった。天気予報の解説を聞いていると予想外の豪雨ということだが、年々災害の規模が大きくなってきているように思う。夏の平均気温の動向や海水温度の動向から明らかに地域温暖化が進んでいると思う。問題はこうした状況下において、国土交通省の水管理・国土保全局の資料を見ると治水事業関係費の推移は、平成8年(村山政権)の2兆2462億円をピークに年々減少しており、平成21年(麻生政権)1兆3787億円からさらに減少し、昨年は7709億円でしかない。また日本の過去の公共事業関係費(政府全体)も平成10年には補正予算分も含めて14兆9千億円であったものが、29年度予算では6兆円である。今年6月に日本土木学会が「国難をもたらす巨大災害対策についての技術検討資料」を発表したが、それによると南海トラフ地震の経済被害は20年間で1240兆円だと試算、公共インフラ投資により41%減災できるとし、公共インフラ対策の重要性を強調しているが、国は財政のプライマリーバランスに重点を置いて、徹底した財政緊縮化を図っていることが足かせ手かせになっている。しかし一旦巨大地震や広域の水害が起これば元も子もない。こういう時こそ建設国債を発行して公共事業を拡大すべきである。日本銀行の「資金循環統計」を見ればわかるが、日本銀行が所有する日本国債は昨年の3月末で約386兆7800億円、日本国債の約40%を所有している。日銀は国の子会社だから返済の必要がないものである。日本国の借金は1000兆円を超えたとか、国民1人当たり800万円超の借入金があるというプロパガンダに洗脳され、マスコミも正しく実態を伝えていない。今こそ公共事業を拡大して将来の災害に備えるべきである。民間資本の活用等という学者もいるが、国の基本となる基盤整備に民間活用等はありません。話である。

(つづく)

※玉キニュース 2018年 8月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊

『GP・小児・矯正が共に考える 実践早期治療』 ～子どもの育ちをサポートするために～



2018年診療報酬改定において、小児の「口腔機能発達不全症」という新病名と診療報酬点数が新設された。これらの治療のためには0歳からそして全身から考える早期治療が不可欠である。本書は、GP、小児、矯正のスペシャリストが、子どもの健康な育ちをサポートする早期治療のあるべき姿と進むべき道を示した実践書であり、全歯科医師必読といえる一冊。

- 監著＝関崎 和夫／高橋 喜見子
有田 信一／里見 優
- 出版＝クインテッセンス出版
- 価格＝15,000円＋税

『歯科医療コミュニケーション』 ～理論と実践で学ぶ臨床の“聴く 伝える 解決する”～



「どのように患者さんの信頼を得、かつ患者さんの背景にあるものや疾患、悩み、本音を収集し、読み解き、治療に役立てるのか」について、医業看ではすでに取り組まれている「医療コミュニケーション学」に触れつつ、プロの医療者としてのコミュニケーション法を、実践やトレーニングに使える書籍でお届けした書。

- 著＝水木 さとみ／勝部 直人
- 出版＝クインテッセンス出版
- 価格＝5,500円＋税